

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



遺愛学院旧宣教師館(ホワイトハウス)

No. 147 函館商工会議所報  
1993——11月号

はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

みなさまの  
**はこしん**  
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

## はこしんのローン

手続カンタン スピード融資

**目的ローン** **マイカーローン** **ビジネス・オートローン**

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。

・コミュニティバンク・  
**函館商工信用組合**

本店 函館市千歳町9の6 ☎代23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ11月号(通巻147号) 目次

今月の表紙/視点.....2 5 1  
会議所の動き.....2 5 1

- ・本所部会・委員会開催
- ・函館・小松間航空路線陳情
- ・みなみ北海道広域商工振興連絡協同開催
- ・第5回日本海峽フォーラム開催
- ・岐阜フアッション 函館懇談会開催
- ・青森商工会議所創立百周年記念式典開催
- ・本道の観光資源等を大いにPR
- ・レイク・マコーリー市友好訪問実施
- ・データをチェック.....6
- 調査レポート.....6 5 9

- ・地域の景気 金融経済概況 九月.....6 5 9
- ・市内第一種大規模小売店舗売上高 九月.....6 5 9
- ・函館地域の経済動向 平成五年(1994年) 第2四半期.....10 5 11
- 誌上講演.....10 5 11
- ・エイズと企業・予防と対策 (6).....10 5 11
- ・人を活かす.....13 12
- 共済推進コーナー.....13 12
- ・自由.....13 12
- ・暮らしのワンポイント.....13 12
- ・さわやか君.....13 12

- ・有段を指して 詰碁・詰将棋.....14 5 15
- ・アドバイスコナー.....14 5 15
- ・戦略的経営計画のたて方・ポイント (2).....16 5 17
- Q & A.....16 5 17
- ・税金相談.....16 5 17
- ・労働相談.....16 5 17
- ・みんなの相談室.....18 5 20
- ご案内.....18 5 20

- ・年末資金の準備はお早めに.....
- ・ご利用を、冬期宿泊施設割引優待券
- ・検定試験のお知らせ
- ・定年制及び高齢者雇用調査にご協力を、
- ・(統報)函館市の灯油・ガソリン価格動向
- ・ご利用下さい、本所の個別専門相談

◆今月の表紙  
遺愛学院旧宣教師館  
(ホワイトハウス)  
市電杉並町電停近くの遺愛女子高校には、白い木造二階建て洋館「遺愛学院旧宣教師館」がある。

この建物は、明治十五年(一八八二年)二月、東京以北で最初の女学校として元町に創立した遺愛女学校(現在の遺愛幼稚園の場所)が、明治四十一年(一九〇八年)現在の地に移転した際に校舎と同時に建てられたもので当時女学校で働いていたアメリカ人女性宣教師の住宅として使用された。

建物は、アメリカの建築様式を取り入れた明治時代の代表的な洋風建築物で、壁が白いこともあり、いつしか「ホワイトハウス」と呼ばれるようになった。昭和五十七年、北海道の有形文化財に指定されている。

### 視点

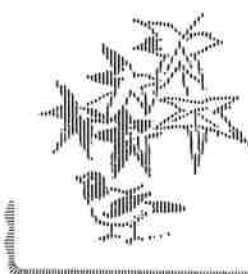
不況、地震そして冷害などがあつたため、あまり評判のよくない平成五年も、後一月余を残すのみとなりました。今年も、七月に北海道南西沖地震による大被害が発生、また、三十度を越す日が一日もなかった冷夏のため、米作地帯が全滅となるなど、大変な年だったと思います。さらに地震による被災は、単に直接的被害に止らず、風評として、管内観光地への入り込みにも、影響を与えました。幸い函館では、観光施設には殆んど被害がなかったこともあり、天候の快復してきた十月には、観光客数は平年近くに戻ったようです。

平成2年より続いているこの不況も、秋頃には底をつくのではないかという見通しも、春頃にはあつたのですが、全国的な天気不順が見られる一方で、国政の執行機関である内閣が、与野党逆転の中で交替、不況対策が遅れがちとなったこともあり、本年内の底離れは難かしく、明年春以降になるのではないかとの見通しが強くなっています。

このような状況を反映し、公定歩合は、平成三年七月より下り続け、現在は史上最低の一・七五%となっており、他の条件さえ整ってあれば、設備投資には最大のチャンスを迎えています。

以上のようなこともあり、明年以降は、個々の企業がそれぞれの立場で、より一層の研究を重ね、努力を盡くすことが必要となってくるものと思われまふ。この難かしい時期を切抜けるため、大いに頑張ってください。

# 会 議 所 の 動 き



## 本所部会・委員会開催

### ◎工業部会幹事会

去る十月二十一日、工業部会幹事会が五島軒駅前店会議室にて開催されました。

当日は、テクノポリス函館開発構想の進捗状況とその中核事業であるテクノパーク建設計画の概要について、函館市の担当部局より説明があり、併せて今後の事業推進について、経済界への支援、協力の要請がなされました。

また、平成六年度事業計画については、従来よりの継続事業を中心に、積極的に推進していくこととなりました。

### ◎情報対策委員会

去る十月二十六日、情報対策委員会が本所会議室で開催されました。

当日は、函館ケーブルテレビ放送株式会社より「有線テレビジョン放送事業の経過と今後の事業の推進について」説明があり、質疑応答の後、今後の同事業への加入と増資などについて協力要請があった。

りました。

次に、明年度の事業計画では、他部会等との連携のもとで、地域の情報化に関する調査、研究を行うこととしました。

### ◎青函圏特別委員会

青函圏特別委員会の正副委員長会議が去る十月十二日、花びしホテル会議室において、柳沢委員長、大角副委員長出席のもとに開催され、今年度函館側で開催される第二回青函圏グルメサミットの日程、内容等について協議されました。

その結果、今年度は来る十二月九日、ホテル函館ロイヤルで、青函両商工会議所の議員参加のもとに、函館の郷土料理を中心に、国際友好都市料理コーナー等も設置するなど、趣向を凝らして開催することとなりました。

## 函館・小松間直行航空路線陳情

函館空港整備促進連絡協議会の

役員八名(本所より若林会頭)が、去る十月十二、十三日の両日、東京都と小松、金沢両市を訪問し、函館・小松間の直行航空路線開設について、日本航空、全日空の本社や小松、金沢両市など関係方面に陳情しました。

函館空港では、現在、滑走路三千メートル拡張工事が進められているほか、国際化に向けた空港施設の工事も行われており、明年四月には、ユジノサハリンスクとの国際定期便が就航の予定です。

また国内航空路線網につきましても、遂次充実されてきておりますが、北陸地方からの直行路線がないこともあり、同地方との交流には不便を余儀なくされています。

当地域と北陸地方との人的、物的交流は、古くから水産関係などを中心に行われてきていますが、本路線の開設は東京中継の不便解消、利用者の経済的負担の軽減、さらには、経済、文化の交流など多方面に亘り、計り知れない効果をもたらす、地域経済の振興に大きく寄与するものとして、その早期開設を強く要望しました。

## 丘珠空港の早期整備等を審議 みなみ北海道 広域商工振興連絡協開催

道南全体の経済活性化を目的に、函館市及び渡島・松山両管内の二商工会議所・二十七商工会で構成されるみなみ北海道広域商工振興連絡協議会(会長・本所若林会頭)の平成五年度第二回総会が十一月五日に今金町商工会館で開催されました。

当日は、各商工会長ら二十七名が出席し、本年度上期に実施した北海道新幹線や高速自動車道など高速交通体系の整備に係る陳情とこれらの現状についての報告が行われ、続いて、面積の広大な本道にとっては都市間交通の整備、とりわけ地方空港の整備によるネットワーク化が大きな課題であるという見地から、丘珠空港の早期整備について審議され、昨年に引続き十一月十日に協議会として北海道および札幌市に対し陳情することが決定しました。

議事終了後、今金町の村本光夫

町長から今金町の商工観光行政についてと題し、今金町の取り組んでいる施策について講話が行われ、引続き会場をピリカ温泉の町営クアブラザピリカに移し、懇親会が開催されました。

### 第5回

## 日本海峽 フォーラム開催

当市をはじめ、我が国の海峽に面した各都市の代表者が一堂に会して、共通する諸問題を話し合いながら、海峽を活かしたまちづくりを考える「第五回日本海峽フォーラム」が、去る十月二十五日北九州市で開催され、今回は七都市の首長、市民ら約六百名が参集し、本所からは平野専務理事が出席しました。

当日は、まず、熊本県立劇場館長で元NHKアナウンサーの鈴木

健二氏の記念講演で始まり、引続き海峽都市市民トークが開催され、鈴木氏をコーディネーターとして、参加した四都市(北九州、下関、青森、函館の市民とともに海峽、対岸都市、交流、海峽都市づくりの四つの主題について、意見の交換が活発に行われました。

最後に、海峽都市会議が開催され、市長が語る海峽都市の未来ビジョンをテーマとして、各市の市

長、助役より、それぞれの市の構想等について発言がなされました。これに対し、コメンテーターからは海峽都市がさらに発展していくための助言があり、盛会裡のうちに当日の日程を終了しました。

なお、次回フォーラムは、稚内市で開催されることが決定しました。

## 両地域の繊維業界が懇談 岐阜フアッション・函館懇談会開催

去る十月二十六日、午後三時より国際ホテルに於て、国内アパレル産業の有力産地の一つである岐阜市より、浅野市長を始め、(株)岐阜フアッション産業連合会広田理事長ら一行十一名が来函し、当市の繊維製品卸売業者との懇談会が開催され、本所より沼崎副会頭が出席しました。

懇談会では、まず岐阜市側より岐阜アパレル業界の紹介ビデオが放映され、現況説明が行なわれた後、懇談会に入り、消費地である当市の卸売業界からは、縫製技術の向上と検品体制の強化、スポーツ感覚を取り入れた新商品の開発、フアッションデザイン研究に対する業界上げての取り組み等について、意見・要望が出されました。

また、紳士服を中心としたディスプレイなど、新しい業態の出現に対する業界としての対応などについても、熱心に議論され、盛会裡のうちに終了しました。

青森商工会議所創立百周年記念式典開催

本所とツイン商工会議所の提携... 式典には、熊谷通商産業大臣(代理)、稲葉日本商工会議所会頭(代理)、北村青森県知事、佐々木青森市長、若林本所会頭等の来賓をはじめ、地元商工会議所の関係者など千二百余名が出席し、百



▲盛大に開催された創立百周年記念式典

年の節目を祝うとともに、決意を新たにしたい青森の創造に向け、努力を重ねていくことを表明

本道の観光資源等を大いにPR

北海道大型観光キャンペーン事業に係る全国宣伝販売促進会議のエキスカーション(現地視察)が、去る十月二十日・二十一日に函館市で実施されました。

本事業は、北海道の観光資源等をPRするとともに、各種イベントを展開し、閑散期を迎えている秋季に観光客を誘致して、本道観光の振興と地域発展を図ることを目的に、北海道大型観光キャンペーン推進協議会が実施するもので、来年の本キャンペーンを控え、今年度は道内外の旅行業者を招待し、札幌市で全国宣伝販売促進会議を開催した後、道内四方面に別れて現地視察が行われたものです。函館方面には約四十名が参加、市内視察を行ったあと懇親会が開催さ

ました。なお、本所では、平成七年九月二十八日で満百年を迎えることになり、百年記念事業については、創立百年記念事業実行委員会を検討しているところです。

一方、他地域からの観光宣伝として、まず十月二十日に山形県鶴岡市から、ミス庄内らが本所を訪問、市内デパートで開催された出羽の庄内・鶴岡市観光物産展のPRを行いました。十月二十五日には、青森県観光宣伝隊一行が本所を訪問し、ねぶた祭や今年から開催された北のBON踊りフェスタのPRをするともに、青森県と函館市の観光について意見交換を行いました。また、函館の特産品の売り込みや観光の宣伝も行われており、十一月九日からは北海道の物産と観光展が鹿兒島市で開催され、本所

では鹿兒島・函館両商工会議所姉妹提携一周年記念として、ミス函館より来場五百名の方へ記念品を提供、両商工会議所の姉妹提携をアピールするとともに、同展の盛り上げに寄与しました。

レイク・マコーリー市 友好訪問実施

当市と、レイク・マコーリー市姉妹都市提携一周年を記念した友好訪問団が、丹藤函館市助役を団長に、市民総勢二十四名が参加して、去る十月二十日から二十七日まで八日間の日程で、函館空港よりチャーター便を利用実施され、本所からは小笠原副会頭が代表団の一員として参加しました。

訪問団一行は、関係機関の表敬訪問を始め、市民交流会や懇親会に参加し、今後の一層の交流促進について、和やかな内にも熱の入った懇談が行われたほか、同市の特徴ある観光地区や商業地区の視察を精力的に行い、同市との友好親善に努めてまいりました。

事務局日誌

10月

\*正副会頭会議

19(火) 第48回正副会頭会議

\*部会

21(木) 工業部会幹事会

\*委員会

12(火) 青函圏特別委員会正副委員長会議

26(火) 情報対策委員会

27(木) 創立百年記念事業実行委員会記念誌編纂小委員会

\*会議(日商)

13(木)~15(土) 平成5年度第1回商工会議所流通問題研修会、懇親会

\*審査会

1(金) 小企業等経営改善資金審査会

27(木) 小企業等経営改善資金審査会

\*諸会議

1(金) 仙台販売士協会視察研修

4(月) 会員懇親の集い職員打合せ会

5(火) 商業集積セミナー

7(木) 苫小牧市労働力需給センター産業視察

〃 みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会

8(金) 第8回国づくりシンポジウム「第二国土軸形成と地方中核都市の役割」

〃 ~ 9(土) 北海道カナダ市町村サミット

12(火)~14(木) '93宮口国際経済貿易商談会

〃 議員懇話会、講演会、懇親会

〃 函館空港連絡協議会

13(木) 函館市公文書公開審査会、同個人情報保護審査会

〃 婦人会10月例会(安島函館市教育委員会委員長講演)

14(木) 函館市老人保健福祉計画策定検討委員会

15(金) 函館市都市景観委員会

〃 中央ブロック会長会議

〃 '93タックスフェア実行委員会

18(月) 北海道開発推進道民総決起大会

〃 函館市大型店出店対策協議会

19(火) 平成5年度函館市国際ボランティア貯金推進協議会総会

〃 平成5年度労働保険事務組合ブロック別研修会

20(木) 北海道大型観光キャンペーン事業に係る全国宣伝販売促進会議、エキスカーション懇親会

21(木) 自由民主党北海道支部連合会平成5年度渡島管内移動政調会(地域政策懇談会)

〃 所報「ともえ」11月号 No.147編集会議

22(金) 地域振興フォーラム開催に係る打合せ会議

〃 大店審による(株)ADSに対する意見聴取会議

25(月) 青森県観光キャラバンとの懇談会

〃 第5回日本海峽フォーラム(北九州市)

〃 函館税務署経営指導員税務研修会

26(火) 観光土産品デザイン研究会

〃 北海道新幹線建設促進期成会幹事会

〃 岐阜ファッション函館懇談会、懇親会

27(木) 第15回湯の川温泉街活性化推進懇談会

〃 中小企業投資育成制度及び事業承継円滑化対策についての説明会

28(木) 大店審による(株)北海道スーパーマーケットダイエーに対する意見聴取会議(柏木店、花園店)

29(金) ビジュアルシンポジウム、懇親会

〃 議員会役員会

30(土) 全日本労働総同盟函館地区連盟解散式、函館同盟友愛センター結成記念パーティー

\*講習・催物

1(金) 複式簿記実務講座(~11/19(金)毎週火・金)

3(日) 第3回フラワーフェスティバル in はこでてオープニングセレモニー

6(木) 本所第2回公開懇親の集い

15(金) 中小企業情報化セミナー「経営の活性化と情報の戦略的活用」

21(木)~26(火) 第6回出羽の庄内鶴岡市観光物産展

27(木)~11/1(月) 第13回みんなの消費生活展

30(土)~11/3(木) 平成5年度第56回函館菊花会展覧会

\*刊行物

所報「ともえ」10月号 No.146

\*相談・診断

金融 151 税務 11 経理 5 経営 69 労働 1 取引 1 その他 0 合計 238

\*貸室

26

\*文書

受信 194 発信 23

\*陳情・要望

12(火)~13(水) 函館~小松間直行航空路線開設に関する陳情

29(金) 新外環状線の早期建設に関する要望

30(土) 社会党整備新幹線早期実現議員連絡会現地視察団に対する要請

\*検定・大会

3(月) 第12回2級ワープロ技能検定試験

〃 第9回1級ワープロ技能検定試験

6(木) 第21回2級販売士検定試験

17(日) 4級ワープロ技能検定試験

24(日) 第139回珠算能力検定試験

\*慶弔・その他

1(金) 函館パートバンク開設式

〃 (財)北海道生涯学習協会副会長岩原氏表敬訪問

2(土) 学校法人函館大妻学園創立70周年記念式典

4(月)~7(木) 第2回サハリン友好の翼

5(火) 清水建設(株)北海道支店長佐波正邦氏、函館営業所長福士諒氏表敬訪問

〃 函館ケーブルテレビ(株)河村澤治社長来所

〃 陸上自衛隊函館地方連絡部長北川義和氏来所

6(木) 北海道電力(株)函館支店理事支店長本田滋氏来所

〃 日本道路公団札幌建設局函館調査事務所長竹内孝光氏来所

8(金) 北海道カナダ市町村サミット開催記念レセプション

〃 運輸省東京航空局函館空港事務所井沢秀介空港長、吉田治夫総務課長着任挨拶

13(木) 函館市教育委員会安島進教育長退任挨拶

14(木) 北海道財務局長大越康弘氏表敬訪問

〃 北海道電力(株)常務取締役安念正義氏、営業部長藤枝時雄氏表敬訪問

15(金) 四共済ゴルフコンペ

17(日) 函館青果物商業協同組合倉庫、分荷場披露、落成式典

19(火) 道々函館空港連絡線建設式、完成記念式典

〃 JAS札幌支店長来所

20(木) JR北海道高速振子式気動車試乗会

〃 鶴岡市観光物産展懇親会

〃 ~27(木) 函館市・レイク・マコーリー市姉妹都市提携1周年記念レイク・マコーリー市友好訪問

21(木) テレビ北海道取締役業務局長三井稔朗氏、営業部次長小関佳孝氏表敬訪問

〃 咸臨丸函入港セレモニー及び招待クルージング

〃 日本商工会議所参与喜多鉄郎氏表敬訪問

22(金) 青森商工会議所創立百周年記念式典、記念講演、祝宴

〃 全国いから工業協同組合平成5年度臨時総会、懇親会

〃 北海道開発コンサルタント(株)関田次男氏常務取締役退任、顧問就任挨拶

24(日) 函館地区連合結成総会、記念祝賀会

25(月) 函館空港事務所新空港長井沢秀介氏着任歓迎会

27(木) (社)函館青年会議所室田晴康理事長、佐々木祐二前理事長、小笠原康正特別顧問、黒島一生、土田昌彦、時田茂、菅原修副会長、中島力専務理事表敬訪問





1. 概況

管内経済をみると、公共投資の好調持続や住宅投資の回復に加え、輸出関連需要を映じて一部製造業が高水準の生産を維持している。もっとも、製造業の設備投資および大型小売店の売上等個人消費が引続き低迷しているほか、秋口に入っても観光客入込みが減少しており、景気全体としては停滞基調にある。

すなわち、製造業では、外需好調により半導体、水晶振動子が、また公共需要堅調を映じてセメントが、それぞれほぼフル生産態勢となっている。また、豊富な受注残を抱える造船や合板機械も高めの操業を維持している。これに対して、水産加工は消費需要の低迷に加え製品価格の低下もあって売上が引続き前年を下回っているほか、水産加工機械でも、売上・受注ともに減少している。また、製缶機械は消費関連需要の不振から依然抑制的な生産を続けている。

一方、非製造業では、家電販売に引続き底打ち感が広がっているほか、自動車販売もモデルチェンジ効果等により前年並みの水準を維持したものの、市内大型小売店の売上は商品全般に動きが鈍く、13カ月連続の前年割れとなった。この間、観光客の入込みは、団体客、個人客ともに不冴えな推移となっている。

農業は、冷害により水稻が壊滅状態となったが、馬鈴薯の収穫が順調に終了したほか、野菜の出荷も順調。漁業は、秋サケ漁が前年を上回る水揚げ金額となっているものの、近海真イカ漁は好漁から魚価が弱含んでいるほか、噴火湾スケトウ漁も低調な滑り出しとな

っている。

こうしたなか、北海道南西沖地震に係る災害復旧工事の発注動向を窺うと、足許緊急復旧工事の発注が順調に進捗しているほか、本格的な復旧工事についても、一部は5年度内に発注される見通し。このため、建築筋では、松山地方北部を中心に繁忙感の高まりを予期して冬場の労働力確保に動く先もみられる。

9月の金融動向をみると、預金、貸出しとも引続き低調裡に推移。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短・長期とも引続き低下。

2. 主要業種別動向

(1) 機械・電子部品

水晶振動子は、欧米向け移動体通信関連の需要好調からフル生産態勢を続けている。また、半導体が米国向け輸出の増勢持続により、合板機械が豊富な受注残を背景に、それぞれ高水準の生産を維持している。造船は、新造船等の受注残消化によりますますの操業度となっている。一方、水産加工機械は、国内水産加工業者の設備投資意欲低迷に加え、海外からの引合い低調もあって売上・受注ともに低迷しているほか、製缶機械も、消費関連需要の回復遅延から引続き抑制的な生産となっている。

(2) 食料品

水産加工品の売上は、生鮮珍味はまずまずながら、乾燥珍味では末端需要の伸び悩みと製品価格の低下から依然として前年を下回っている。また、飼料・魚油の売上も引続き前年割れ。

(3) その他製造業

セメントは、官公需を主体にフル生産態勢で臨んでいるほか、生コンの出荷量も、6月補正や災害復旧関連の公共工事増により前年並みにまで持ち直している。また、段ボールの生産・出荷は、青果物向けが好調に推移していることから引続き前年を上回っている。一方、合板では、安値輸入品へのシフト等から出荷の大幅減少が続いており、抑制的な生産姿勢を継続しているほか、漁網の受注・生産も需要の低迷から引続き低調裡に推移している。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注額(9月末

累計)は、6月補正予算や地震の緊急復旧予算の発注等から、プラス16.5%と引続き前年を大幅に上回っている。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(9月)は、持家を中心に前年比プラス63.0の大幅増加となった。この間、建設業者の仕事繰りをみると、民間設備投資関連は依然不冴えながら、公共工事、住宅投資関連では繁忙感が増している。

(5) 農・漁業

農業では、水稻が冷害のために壊滅状態となったが、馬鈴薯の生育は前年並みで収穫も順調に終了。また、野菜の出荷も引続き順調ながら、価格は秋口以降の好天を映じた本州産の出荷回復等から、前年並みにまで下がってきている。漁業では、秋サケ漁が魚価高から前年を上回る水揚げ金額となっているものの近海真イカ漁は、渡島を中心に好漁が続いていることから魚価は依然弱含みに推移している。また、10月解禁の噴火湾スケトウ漁も水揚げ金額が前年を下回っており、低調な滑り出し。

(6) 消費関連

9月中の市内大型小売店(10店)の売上高は、秋冬物重衣料の出足が鈍いほか、その他商品も全般的に動きが悪く、マイナス5.3%の13カ月連続の前年割れとなった。もっとも、耐久消費財では、新車自動車販売が大・中型

車を中心とするモデルチェンジ効果等によりプラス0.1%と前年並み水準を維持したほか、家電販売も住宅着工件数増を映じた引越し需要が一部にみられていることもあって、テレビ、冷蔵庫等が底堅い売れ行きを続けている。この間、観光・レジャー面をみると、法人筋を中心とした団体ツアーの低迷に加えて個人客の入込みも不調とあって、市内主要ホテル宿泊客数、函館空港乗降客数ともに前年割れとなる等、不冴えな推移。

3. 金融事情(9月中)

実質預金は、公金預金が公共工事代金の支払等から減少したほか、個人の流動性預金の取崩しが目立ったため、月中69億円減と前年の120億円増とは様変わり減少。また貸出しも、引続き運転・設備需資とも盛上りを欠いており、月中57億円増と前年の96億円増を下回る増加に止まった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短・長期とも低下し、全体ではマイナス0.116%の大幅低下となった。

銀行巻は、行楽資金等の還流を中心に前年95億円に比べ月中65億円の還収超となった。

財政収支は、租税や保険の受入のほか資金運用部の定期償還もあって、前年の140億円に比べて月中171億円の大幅受超となった。

データをチェック!

## 第二の人生と働き方

～ 充実感と社会貢献 ～

収入がほしい——これは、日本やアメリカ、イギリス、韓国などで、60歳を過ぎても仕事を続ける理由のトップです。各国共通して経済的な理由が挙げられています。しかし、二番目の理由をみると、欧米とアジアとは60歳を過ぎた第二の人生に対する考え方の違いがはっきり出ています。

欧米では、「仕事そのものがおもしろいから」が二番目の理由です。仕事そのものに対する充実感と、社会の一員として貢献するという精神的な満足感とを見いだしています。これに対し、アジアでは「働くことが体によいから」。社会の一員としてというよりは、自己を満足させる手段として仕事を考えているといえます。

ところで、日本では、「60歳を過ぎても、できるだけ長く仕事をしたい」と考えている人が平成2年で54.9%。5年前と比べると約10%も増えました。この増加は、今後日本が迎える高齢化社会に自ら対応しようとする積極的な気持ちの表れといえるのではないのでしょうか。

**就労の継続理由の国際比較**

国	収入が欲しいから	働くのは体によいから	仕事を通じ友人や仲間を得ることが出来るから	仕事面白いため	仕事を通して社会に貢献出来るから	その他
日本	54.9	11.0	22.9	13.9	0.0	0.0
韓国	65.0	19.4	17.0	0.0	0.0	0.0
アメリカ	41.9	16.9	29.1	12.1	0.0	0.0
イギリス	46.9	8.1	28.7	16.3	0.0	0.0
ドイツ	28.6	12.5	31.1	27.8	0.0	0.0

# 函館地域の 経済動向

平成5年度 第2四半期

平成5年度第2四半期の函館地域の経済動向は、公共工事の発注が順調に推移したほか、住宅建築も回復傾向に転じているが、地震、天候不順の影響もあって、個人消費関連の低迷が続いており、景気の回復に向けては依然足踏み状態が続いている。

## 1. 公共事業発注状況

平成5年度第2四半期迄の公共関連工事全体の発注額は、846億8,700万円で前年同期に比べ、52億9,100万円、6.7%増加しており、発注率は81.0%となった。また、北海道南西沖地震の発生により、災害復旧関連の発注が増加している。

機関別にみると、函館開発建設部が発注額412億6,300万円、発注率77.2%で前年同期に比べ72億9,300万円、21.5%の増加となっており、函館土木現業所では発注額282億5,300万円、発注率83.9%で同32億8,100万円、13.1%増加している。一方、函館市では発注額が、151億7,100万円、発注率73.7%で前年同期を52億8,300万円、25.8%下回っている。

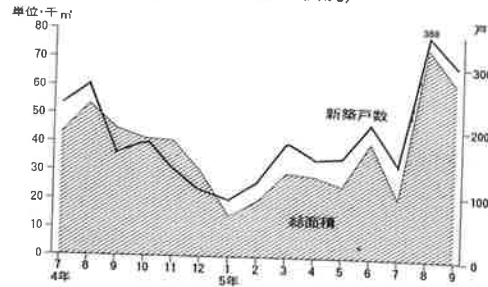
## 2. 建築着工状況

第2四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が158,733㎡で前年同期に比べ12.6%増加しており、平成2年度第2四半期以来11期ぶりに増加傾向に転じた。またこのうち住宅部分床面積は100,875㎡で同13.0%増加している。

住宅総戸数は1,003戸で同22.6%増加したが、うち増改築が96戸で同41.2%の増加、新築住宅も907戸で同20.9%の増加となり、平成

2年度第3四半期以来10期ぶりに増加に転じている。新築住宅戸数の内訳をみると、持ち家469戸(同37.5%増)、貸家280戸(同17.2%減)、分譲・その他158戸(同122.5%増)となっている。

(図-1 建築着工状況)



## 3. 個人消費

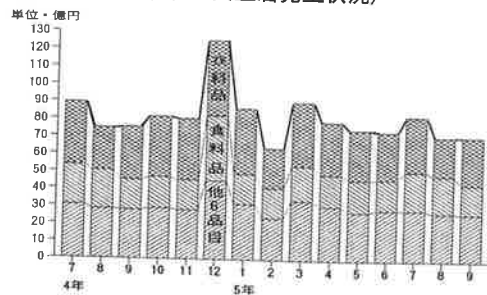
### ① 大型店売上高

第2四半期の市内第一種大型店売上高は、総額で226億4,331万円、前年同期に比べ5.6%の減少となった。

品目別では主力の衣料品が81億2,851万円で同9.6%減少と引き続き低迷、もう一方の主力食料品も60億7,558万円で、同2.9%減少と振るわなかった。以下身の回り品19億3,675万円、同3.7%減、雑貨21億6,438万円、同3.3%減、家庭用品19億7,674万円、同7.2%減といずれも前年同期を割り込んでいる。

(ニトリ家具を除く10店舗、消費税分除く)

(図-2 大型店売上状況)



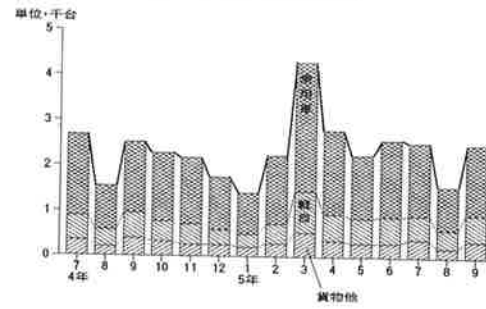
### ② 新車登録台数

第2四半期の管内新車登録台数は、6,589台で前年同期に比べ2.2%の減少となった。

車種別では乗用自動車が4,094台で同5.2%

減少したが、貨物・その他が967台で、同4.1%の増加、軽自動車が1,528台で同2.6%の増加となっている。

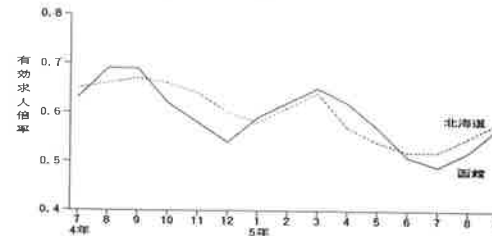
(図-3 新車登録台数)



## 4. 雇用情勢

第2四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢

(図-4 雇用情勢)



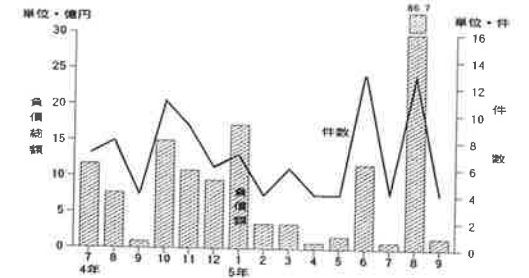
勢は、月平均有効求職者数が6,923人で前年同期に比べ14.3%の増加、月平均有効求人数は3,647人で同10.0%減少し、有効求人倍率は前年同期を0.14ポイント下回る0.53倍となった。(パートの常用分含む)

## 5. 企業倒産状況

第2四半期の管内企業倒産は、21件で前年同期より2件増加、8月に発生した大型倒産の影響により負債総額は89億2,500万円で前年同期に比べ339.0%の増加となった。

(負債額1,000万円以上、内整理を含む)

(図-5 企業倒産状況)



## 函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成5年9月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,743,846	123.1	90.9
身の回り品	633,321	103.9	99.6
雑貨	698,095	93.7	93.5
家庭用品	647,445	104.6	93.4
食料品	1,678,620	77.6	96.5
食堂・喫茶	140,496	78.0	90.5
サ・ビス	74,678	109.2	70.8
その他	544,855	99.4	117.0
総計	7,161,356	100.0	94.7

<10店> 棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、  
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店